

JOMF 派遣医師便り (2019.5)

◆マニラ◆

フィリピンは雨季に入ります、デング熱流行、インフルエンザ流行

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

フィリピンでは雨季に入り始めています。毎年この時期に流行しはじめるのがデング熱とインフルエンザです。

フィリピンにおいてデング熱は年間 20 万人前後が発症しています。年間を通して発症していますが、例年 6 月から急激に患者数が増加しています。「高熱が関わる病態」、「熱が高くなくても全身倦怠感が関わる病態」を診た時にはデング熱も鑑別疾患として考えます。時に重篤に至ることもあり、輸血も治療の一環として行われることもあります。重篤になる前に、早めの受診が大切です。

当地ではインフルエンザも同時期（当地の雨季）に流行しています。例年はインフルエンザワクチンの流通・接種が 5 月に始まりますが、今年は現時点においてワクチンの流通が始まっていません。流通が始まり次第当院でもワクチン接種を開始する予定です。

当地在住者はもちろん、仕事や旅行で来比予定の方は蚊に刺されない工夫、インフルエンザワクチン接種などを考慮することが大切です。

皆さまお体大切になさってください。2019 年 5 月 13 日記

<追加情報>

5 月中旬から当地でもインフルエンザワクチンの流通が始まりました。マニラ日本人会診療所でも 5 月 20 日からインフルエンザワクチン接種を開始しています。

デング熱とインフルエンザを合併する患者さんもいます。患者さんはかなりつらい状態になります。インフルエンザのワクチン接種をしておくことでこのようなケースを防ぐ、あるいは軽減することにもなります。蚊に刺されない工夫、インフルエンザ予防対策が大切です。